

## 茨城県北地域おこし協力隊【起業・複業型】(KENPOKU PROJECT E)の活動・育成等に関する指針

### 1 目的

県北地域で持続可能なビジネスを実現するため、茨城県北地域おこし協力隊員【起業・複業型】(以下「隊員」という。)に求められる基本姿勢、資質等を明らかにし、その育成に向けた指針を定める。

### 2 隊員の基本姿勢

隊員の活動は、利益の追求のみに偏ることなく、地域住民との信頼関係があって成り立つものであることを常に念頭に置きつつ、以下の基本姿勢に基づいた活動を本旨とすること。

- (1) 県北地域の課題解決や地域資源の活用につながる、新しい視点からのビジネス等にチャレンジすること
- (2) 自ら目標・計画をたて、積極的に行動すること
- (3) 法令や社会規範を遵守し、地域に溶け込み誠実に活動を行うこと

### 3 隊員に求められる資質等

隊員は、県北地域で持続可能なビジネスを実現するため、起業やビジネスへの意欲や困難に対処する柔軟性を持つとともに、以下についてその習得・研鑽に努めること。

- (1) 地域おこし協力隊・ビジネスパーソンとしての基本的知識やマナー等
- (2) 地域の課題や自己のビジネスの課題を発見・把握する調査・分析能力
- (3) 自己のビジネスプランの形成能力や実行能力
- (4) 地域やビジネスパートナー等との信頼関係を築くコミュニケーション能力
- (5) 資金調達や顧客開拓等に必要な折衝能力や情報発信力

### 4 育成の考え方

県は、隊員の基本姿勢に対する意識を醸成し、より良い活動に必要な資質等を育むため、以下の考え方に基づき隊員の成長等をサポートすること。

- (1) 集合型研修の実施
  - ・委嘱後、概ね1年に満たない初期段階の隊員には、集合型研修を行うこととし、事業に必要な知識やスキル、課題の認識や解決に向けたプロセス等の習得を促し、自己のビジネスプランの形成等を支援するほか、事業への意欲や、隊員として、ビジネスパーソンとしての基本的な知識や素養を高めるサポートを実施する。
  - ・集合型研修に際しては、隊員以外も受講するオープン参加のセミナーを活用することとし、事業家を目指す参加者同士のネットワークづくりや相互研鑽を促す環境づくりに配慮する。
- (2) 個別的指導助言の実施
  - ・コーディネーターやメンターを配置し、定期面談や随時面談により、隊員の強みを伸ばすコーチングや、ビジネス活動に求められる個別の知識やスキルの習得に必要な指導助言を行う。
- (3) ネットワーク等拡大支援
  - ・ビジネスを展開する上で必要な、行政機関や関係者等とのネットワークづくりをサポートする。